

経営比較分析表（令和3年度決算）

北海道札幌市 札幌病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	透I未訓ガ	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,960,668	62,339	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

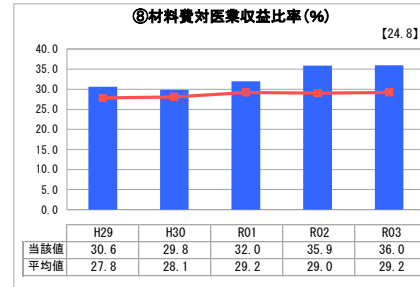
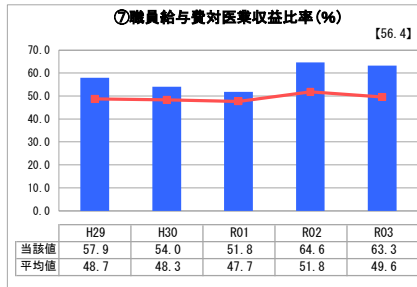
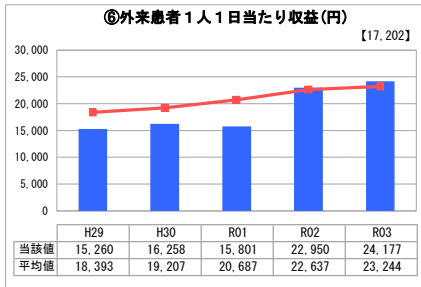
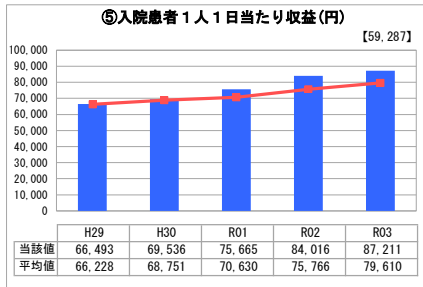
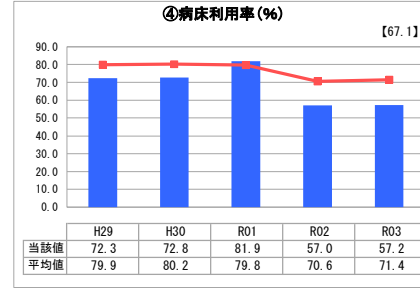
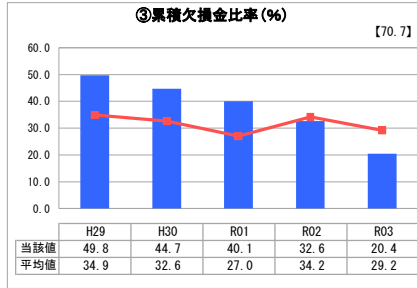
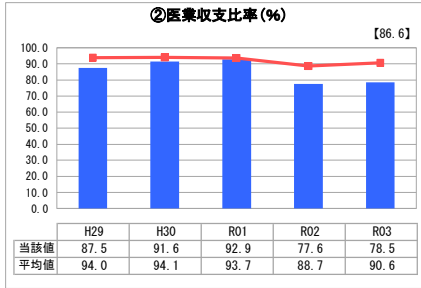
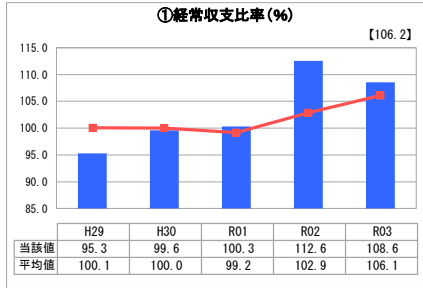
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
626	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
38	8	672
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
610	-	610

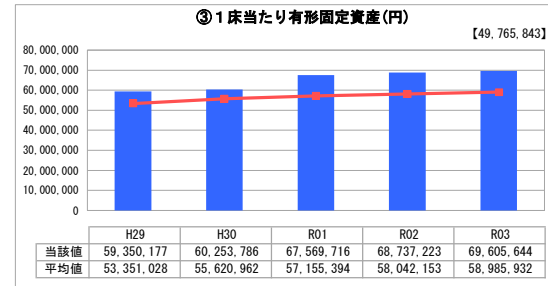
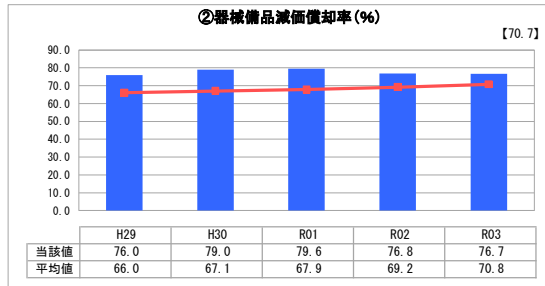
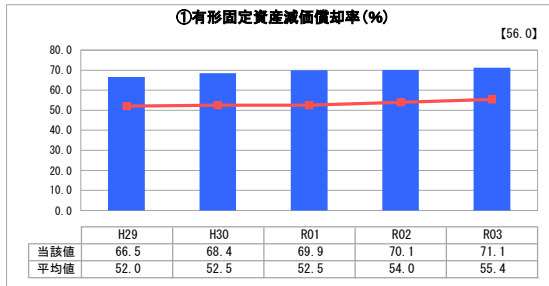
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

市民のため、「最後のとりで」として地域の医療機関を支える。

- 救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療や精神科救急などの民間の医療機関のみで担うには限界のある医療など、政策的な医療を担う
- 高度急性期病院・地域医療支援病院として地域の医療機関を支える
- 北海道・札幌市の将来の医療を担う人材を育成する

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 一般診療を制限しながら新型コロナウイルス感染症患者を受け入れてきた影響により、医業収支比率や病床利用率は昨年度に引き続きコロナ禍前と比べて、大幅に落ち込んでいる。
- 感染症病床確保促進事業等の補助金収入により、経常収支比率は100%以上を維持し、累積欠損金比率は減少した。
- 高度急性期の治療が必要な患者の割合が相対的に増えたことや、注射薬等の医薬品自体が高額になってきている影響などにより、1日1人当たり収益は増加した。

2. 老朽化の状況について

- 建築から20年以上が経過し、有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに高い数値となっていることから、計画的な施設の更新等を検討していく必要がある。

全体総括

- 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者の受入れにより、医業収支比率や病床利用率については低水準となっており、コロナ禍で減少した入院収益を増加させ、経営を安定化させることが必要である。

- 同感染症の感染状況を踏まえながら、コロナ患者とコロナ以外の患者の受け入れを両立させ、令和元年度に策定した「市立札幌病院中期経営計画」に基づいた取り組みを実施し、引き続き経営の改善を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。